

バスケットボール戦評記入用紙

大会 (新人 関東 インターハイ)
 試合 (決勝・準決勝・準々決勝・決勝リーグ)
 日時 5月18日 金曜日 第 2 試合 時刻 13:00
 記入者名 祐木 毅

A チーム	得点		得点	B チーム
<u>浦和西 高校</u>	<u>43</u>	(<u>71</u>	<u>川口北 高校</u>

戦評

第1P、両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。先手を取ったのは川口北。#4のドライブインシュートをきっかけに流れを掴む。さらにオールコートでプレッシャーをかけて、ボールを奪い速攻を決める。0-8になったところで浦和西はタイムアウトを取る。タイムアウト後も川口北#4がボールを奪いレイアップシュートを決めて、流れは川口北。浦和西も#5、#7が何とかファールをもらいフリースローにつなげ、何とか食らいつく。

第2P、川口北は豊富な運動量とスピードで浦和西を圧倒する。#14、#13のジャンプシュートでリードを広げる。浦和西はたまたまタイムアウトを請求する。タイムアウト後、浦和西はディフェンスを3-2ゾーンにして巻き返しをはかる。川口北のシュート確率が下がり、得点が止まる。逆に浦和西はオフェンスのリズムが良くなり、#7のジャンプシュート、#9のカットインシュートが決まり、20点差以上あった得点差を縮め、前半を終了する。

第3P、浦和西3-2ゾーンディフェンス、川口北オールコートディフェンスで始まる。浦和西はゾーンディフェンスから速攻を狙いたいところではあるが、川口北の固いディフェンスがこれを許さない。川口北もシュート確率が上がらず苦しむが、#4がジャンプシュートを決めて、リードを24点差に広げて流れを渡さない。

第4P、浦和西は#4のジャンプシュート、ゴール下でのシュートが決まり、点差を縮めにかかる。しかしシュート確率が上がらなかった川口北も#6、#13のジャンプシュートが決まり、点差は縮まらない。浦和西は#7の3Pシュートが決まり、最後の望みをかけるが、疲れが見え始め追撃できない。総合力で勝る川口北が終始試合をリードし続け勝利し、関東大会の出場権を得た。